

2021年7月2日(金) 第2840回例会 形式:対面 天候:あめ 合唱:君が代 奉仕の理想 四つのテスト

会長 室伏学 幹事 望月博文

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内 TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

室伏学

2021~22年度、第60代会長を仰せつかりました室伏学でございます。湯河原ロータリークラブは、今年度、創立60周年の節目を迎えます。第60代会長の私は1965年(昭和40年)生まれで、1963年(昭和38年)加盟認証状伝達式の時点で生まれていなかった初の会長です。望月幹事のお力をお借りして、1年間、何とか会長職を全うしたいと考えております。

前々年度から続く「新型コロナウイルス感染症」は未だに収束の見通しも立ちませんが、これまでも様々な状況下で、湯河原ロータリークラブ先達の皆様によって、変化に負けることなく活動を続けて参りました。今年度のシェカール・メータRI会長のテーマは「SERVE TO CHANGE LIVES」(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)です。今年度の湯河原ロータリークラブはこの60年間を振り返るとともに、「みんなの人生を豊かにするために」、奉仕と親睦を大切に、次世代につなげる活動を展開して参りたいと考えております。

年内の主なスケジュールをご案内いたします。まず、再来週7月16日が木村隆也ガバナー補佐の訪問です。そして、7月30日が田島透ガバナーの公式訪問です。また、10月24日の「世界ポリオデー」に向けて、第9グループ独自の奉仕活動を10月9日に実施予定です。10月9日午前中に湯河原駅前前で「ポリオ撲滅募金活動」、午後は箱根神社で「ポリオ、コロナ撲滅祈願祭」の予定です。会員の皆様も是非ともご予定ください。

それでは、2022年6月までの1年間、湯河原ロータリークラブ会員の皆様、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

出席報告

会員	24名	出席率	91.30%
欠席	3名	前回の修正出席率	83.33%
(免除者)	1名	前々回の修正出席率	82.61%
ゲスト	2名	事前メイクアップ	0名
ビジター	0名		

ゲスト 米山奨学生 トン タット ミンフィ 君

ゲスト 公益社団法人小田原青年会議所

副理事長 宮川 勝行 様

スマイルBox 7/1~7/8



会員誕生日 室伏学君(7/4)

入会記念日 望月博文君(13年・H20.7.4)
入会記念日 室伏学君(8年・H25.7.5)
入会記念日 安江仁孝君(2年・R1.7.5)

室伏学君・望月博文君・渡辺久恭君
2021-2022年度、1年間よろしくお願ひいたします。

石田浩二君 年度末、2回ほど欠席致しました。
石田浩二君 観光協会総会終了致しました。
石田浩二君 クラウドファンディングにて、桜並木のプロジェクトをはじめました。
石田浩二君 お弁当事業「結箱」のメニューをバージョンアップいたしました。
石田浩二君 現在開催されている日本プロゴルフ選手権において当社運営施設「日光東照宮晃陽苑」が選手ハウス・選手レストランとして使用されております。

年初例会なので全員でスマイル。

(編集 7月会報担当:佐藤友彦/クラブ会報委員会)

本日はこのような貴重な場にお招きをいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。私たち小田原青年会議所について、話をさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。

・自己紹介

生まれも育ちも湯河原町で、吉浜海岸の近くで育ちました。仕事は、宮川・神蔵社会保険労務士法人の代表として、社会保険労務士業を営んでおります。また、5歳の息子がおります。

・小田原青年会議所(JCI小田原)

小田原青年会議所は1958年に創立され、本年で63年を迎えます。会員は20歳～40歳までとなっており、84名が在籍しております。日本国内には691の青年会議所があり、国内のメンバー総数は約3万人です。各地青年会議所は地域を超えた連携を行うため、都道府県ごとにブロック協議会にて連携を行い、またその連携機関として地区協議会があり、さらに日本中の総合調整機関として日本青年会議所(世界115の国と地域が加盟する国家青年会議所(NOM)のひとつ)があり、JCI全体で協力ができるようになっております。

よく「JCIはボランティア団体ですか」と言われることがあります。私たちは、ゴミを拾う団体ではなく、どうすれば街からポイ捨てされたゴミがなくなるか、どうすればゴミをみんなが捨てなくなるかを考え、社会実験を行う団体です。またJCIについての三信条は「奉仕・修練・友情」です。実際は「何事にもハイかYES か喜んで！」が代々伝わる三信条のようですが・・・頭の片隅にでも覚えていただければ幸いです。

・近年のJCIの取り組み

1. 防災——私たちは2019年6月、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町の1市3町の行政、並びに社会福祉協議会様と災害時相互協力協定を締結いたしました。さっそくその年の秋、台風の影響による箱根町の大雨に対し、相互協力協定に則っての地域ボランティアへの指示、他地域からの援助物資の配布、私たち自身によるボランティアを実施しました。

2. 昨年度事業——昨年は新型コロナウイルスの感染が徐々に広がり、3月に緊急事態宣言が発出されたことにより、前年度から準備をしていたすべての予定を一度白紙に戻しました。その際、JCI小田原としての活動を休止するべきか、事業を行うべきかを考えましたが、4月には「どんな状況下でも動きを止めない」「動き続ける」方針を改めて定め、再度メンバー全員に向け、当時の一寸木理事長より発表を行いました。そして(通常であれば、前年10月より半年程度かけて準備を行うところ)4月より急ピッチに事業を構築し、4月には1市3町にサージカルマスクの寄贈を行いました。

3. 献血呼びかけ——緊急事態宣言により輸血用の血液が不足してきているという社会背景の下、献血を呼び掛けるとともに、ダイナシティにて献血活動を実施、1日で75名の方にご協力をいただきました。

4. 医療従事者応援——医療従事者を応援するプロジェクトをJCI日本として企画し、JCI小田原でも、小田原市そして観光協会のご協力をいただき、小田原城を近年導入されたフル

カラーLED 照明にて、ブルーにライトアップいたしました。

5. 花火打ち上げ——昨年は「花火」を合計3回打ち上げました。当初は小田原御幸の浜開催100周年としての復活花火大会を予定しておりましたが、小田原市内では夏の花火大会が中止、その他ほぼすべてのイベントが中止となった中で、皆で上を向いてほしいという想いで、7月16日に酒匂川にて医療従事者応援花火を、7月24日には全国一斉花火プロジェクトとしてオリンピック開会式予定日に合わせ全国120か所にて花火を打ち上げました。そして、復活御幸の浜花火大会として、11月22日に、コロナ感染拡大防止に取り組みながら、そして地域の皆様のご協賛をいただいて、1,800発、40分間の花火大会を開催することができました。

本日は進行中のプロジェクトもご紹介いたします。

・小田原JKまち活プロジェクト

小田原JKまち活プロジェクトとは、小田原市内在住または小田原市内高等学校に通う女子高校生たちによるまちづくり活動プロジェクトです。「自分たちのまちは自分たちでつくろう」をテーマに、女子高校生たちを対象にまちづくりチームを結成し、自らが小田原の魅力を考え企画した地域活動に大人を巻き込みながら実践することを通じ、若者が進んでまちづくり企画を図り、まちを活性化させると共に新たな地域の魅力を創出することが目的のプロジェクトです。

・今年度スローガン

2021年度は「協奏」をスローガンに掲げ、運動を展開してまいります。協奏曲とは、主に複数の独奏楽器を用い、時にそれぞれの楽器の個性を活かしたソロ演奏を織り交ぜつつ、一つの素晴らしい成果として合奏を行うものですが、私は「協奏」とは青年会議所そのものだと考えます。「協奏」の「協」とは、協力・協議・協調とあるように、人と力を合わせることです。「協奏」の「奏」とは、奏上・演奏・奏功とあるように、意見を述べる、自分の音を出す、成し遂げることです。つまり「協奏」とは、物事を自分事としてとらえ、多くの人と想いを通わせ、力を合わせて推し進め、成し遂げることです。1つの事業を開催するために、会員同士が集まり、何度も何度も議論を積み重ねます。

JCI小田原が懸け橋となり、地域の皆様と、仲間と共に音を奏でていきたいと考えております。

